

中施策評価書

作成日 令和04年 6月 10日

中施策事業名	収納管理事務	部課名	市民生活部・債権管理課
		作成者	小川 正寿
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する		
④中施策事業の対象	納税者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	現年度の収納率が向上し、市税が確保されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 過誤納金処理事務・口座振替処理（口座推進事業）事務、・ 収納データ取込・消込事務、・ 出票（作成・金融機関送付含む）事務、・ 督促状（作成・調査含む）事務、・ 徴収連絡票記入事務、・ 納税貯蓄組合関係事務、・ 徴収嘱託事務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
収納率（現年分）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	99	99	99	99	99	99
	実績値	99.13	99.23				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額	
				令和02年度	令和03年度	令和04年度	
① 総事業費 (a+b)				12, 746千円	12, 378千円		
	a 事業費合計			12, 746千円	12, 378千円	37, 077千円	
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人		
			b 金額	0千円	0千円		
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人		
			金額	0千円	0千円		
			人件費合計			0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				12, 746千円	12, 378千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				185 円	180 円		

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 令和3年度については、新たにスマートフォン決済アプリを利用しての納税を開始し、納税の利便性向上を図った。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和4年度中に、地方税共通納税システム税目拡大および統一QRコード対応のため、総合収納システムおよび基幹系システムの改修、各種帳票の作成等を実施する。 また、スマートフォン決済対応アプリの種類を増やし、さらなる納税の利便性向上を図りたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	地方税共通納税システムの税目拡大および統一QRコードをさらに活用した納税機会の拡大について検討する。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 7月 7日

中施策事業名	滞納整理事務	部課名	市民生活部・債権管理課
		作成者	小川 正寿
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する		
④中施策事業の対象	納税者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	収納率を向上させて、市税が確保されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・市税の徴収金に関する事務、・滞納者への催告事務、・滞納者への財産調査事務、・相続人調査事務、・滞納者の財産差押処分の執行事務、・破産、競売事件等に係る交付要求事務、・差押財産の換価事務（公売）、・市税の納税猶予に関する事務、・執行停止及び不納欠損に関する事務、・納税相談、・電算事務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
収納率（滞納分）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	28	30	30	30	31	32
	実績値	49.65	49.74				
単位	%						
	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				10,414千円	12,732千円	
	a 事業費合計			10,414千円	12,732千円	13,205千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				10,414千円	12,732千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				151 円	185 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 令和3年度は、目標値を達成するとともに前年度に比べ収納率が向上し、大施策に大いに貢献できた。新たに取り組んだこととしては、徴収専門員の指導の下、市単独で不動産公売を実施した。また、県の共同公売にも参加し、公売を進めた。年間としては、2件の不動産公売を実施できた。不動産公売にあたり、不動産鑑定費用がかかりコスト面では支出の増となったが、滞納処分費として換価代金より徴収できるためその分収支は相殺され実質的なコスト増とはなっていない。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和4年度は、愛知尾三地区滞納整理機構が設立されたので、徴収困難事案の解消、解決の促進を図りたい。また、研修等へ積極的に参加し、徴収に関する知識の向上を図りたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和5年度は、愛知尾三地区滞納整理機構と連携を取りながら、徴収のノウハウを高めるような研修を実施したり、共同で公売を実施するなどの取り組みを行っていきたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和04年 4月 19日

中施策事業名	債権管理事務	部課名	市民生活部・債権管理課
		作成者	小川 正寿
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税収を増やす等、収入を確保する		
④中施策事業の対象	以下債権の滞納者 ・後期高齢者医療保険料・介護保険料・保育所保育料		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	税以外の強制徴収債権の収納率を向上させて税外債権が確保されている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	税外収入金に関する事務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
保育料収納率（滞納分）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	27	28	29	30	31	32
	実績値	54.03	45.76				
	単位 %						
介護保険料（滞納分）	事業実施年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
	目標値	27	28	29	30	31	32
	実績値	39.2	45.13				
	単位 %						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和02年度	令和03年度	令和04年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	0千円	
	a 事業費合計			0千円	0千円	0千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計			0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	0千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 令和3年度は、保育料、介護保険料ともに目標値を大幅に上回り目標値を達成できた。保育料は前年比で収納率が下回ったものの、滞納調定が減少していることが収納率に影響したと考えられる。引き続き高い収納率を保てるよう滞納整理を進めていきたい。コスト面では、税と一体的に徴収を行っているため、人件費程度で支出が抑えられている。
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	令和4年度は、十分な財産調査を行い滞納処分を進めるなどして、より高い収納率を上げられるように進めていきたい。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	令和5年度は、愛知尾三地区滞納整理機構との連携や協力体制を模索しながら滞納整理を進めたい。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等